平成241	年度(対2	事	務	事	業	評	価	表		作成日	3 平成	24 年	6 月	8 日		
部局名 健康福祉部 所属名 健康					課			所属	長名	白田	3. J.	電話	483-115	1 内線22	10	
1. 事務事業の位置付け・概要(PLAN)													<u> </u>			
コード 3207 事務事業名称 環境衛生事務事業												短縮コー	-ド 経常	3207	臨時	ŧ
予算区分	区分 会計 01 一般会計 款 04 衛生費							項	01	保健征		目	03 環境	衛生費		i
区 分																
事業概要	(事務事業	を開始したきっかけ	ナを含めて	記入)												
昭和524	昭和52年度から、船橋市・習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市の4市で運営している馬込斎場に係る管理・運営に要する経費を負担する。(習志野市は平成5年度より参加)															
		状況の変化の文、会					6本	の柱(章	(01	第1章健康福祉都市	をめざして	<u> </u>			
		こ伴い,火葬利用者 が検討されている。	数が増加	しているた	こめ,第2斎		大耳	項目(節)) (02	第2節社会福祉					
						総合計画	中	項 目		07	7. 墓地・斎場					
						画の施策	小	、項目		02	(2) 斎場の整備					
						体 系	細	引 項 目		99	斎場の整備(細項目なし)					
								施計画 画事業	<i>)</i>	015	第二斎場建設事業					
計画事業の	の位置付けの	D有無		計画等	事業期間	1		~			計画事業費	Ī				千円
2. 事	務事業の	目的・指標・	実績(DO)												
		馬込斎場の運営 船橋, 八千代, 領	鎌ヶ谷. 清	図志野によ	る共同運営	さである。										
(誰を何を対象にしているのか) 船橋、八千代、鎌ヶ谷、習志野による共同運営である。 ※平成23年度に実際に行ったこと: ①馬込斎場を運営する四市複合事務組合へ分賦金を納入した。 ②四市複合事務組合運営協議会及び馬込斎場連絡協議会に参加し、火葬場運営計画等を協議した。 ③第2斎場整備の検討を進めた。 ※平成24年度に計画していること: ①馬込斎場を運営する四市複合事務組合へ分賦金を納入する。 ②四市複合事務組合運営協議会及び馬込斎場連絡協議会に参加し、火葬場運営計画等を協議する。 ③23年度と同様に、第2斎場整備の検討を進める。																
意図 (何を狙・	意図															

ているのか)	船橋,八十代,鎌ヶ谷,習志野による共同連宮である。
手段 (具体的な事務事業	※平成23年度に実際に行ったこと: ①馬込斎場を運営する四市複合事務組合へ分賦金を納入した。 ②四市複合事務組合運営協議会及び馬込斎場連絡協議会に参加し、火葬場運営計画等を協議した。 ③第2斎場整備の検討を進めた。
のやり方、手順、詳 細)	※平成24年度に計画していること: ①馬込斎場を運営する四市複合事務組合へ分賦金を納入する。 ②四市複合事務組合運営協議会及び馬込斎場連絡協議会に参加し、火葬場運営計画等を協議する。 ③23年度と同様に、第2斎場整備の検討を進める。
意図 (何を狙っているの か)	死者の火葬は必要不可欠であり、葬祭場に対する市民の需要に応え、環境及び利便性にも配慮した斎場の円滑な運営を図る。
ねらい (上位施策の 意図)	入力対象外

区分		L	W 11	2 2 年度	2 3 5	2 4 年度	
			単位	実績	計画	実績	計画
	指標 1	斎場数	箇所	1	1	1	1
対象指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1	馬込斎場の式場数	室	4	4	4	4
活動指標	指標 2	火葬炉の数	基	15	15	15	15
	指標3						
	指標 1	馬込斎場の施設利用件数 (四市合計)	件	7, 687	7, 430	7, 993	8, 010
成果指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1						
上位成果指標	指標 2						
	指標3						

⊐ -	コード 3207 事務事業名称			美名称	環境衛生事務事業		所属名	健康福祉課			
単位					2 2 年度	2 3 年度				2 4 年度	
				平位	実績	計画		実績		計画	
			国	千円							
			県	千円							
	財源内	勺訳	地方債	千円							
+			一般財源	千円	68, 800	78, 478			66, 023	77, 897	
事業			その他	千円							
費 (A)	主な事業費の内訳			•	管理運営費56,739千円 施設整備5,785千円第2斎場整備 費6,276千円	管理運営費52,020千円 施設整備5,769千円第2斎場整 備費21,783千円	5,769千円		午円施設整備 9千円	管理運営費50,856千円施設整備5,762千円第2斎場整備費21,279千円	
人件費(B) 千円				千円	11, 529	11, 331. 9		10, 492. 5		11, 331. 9	
ト — タ ル コ ス ト (A) + (B)			(A) + (B)	千円	80, 329	89, 809. 9			76, 515. 5	89, 228. 9	

3. 事務事業の評価(SEE)

(加速は 1712名) (開が必要で、第4次総合計画中「斎場の整備	ているが、今後も市民にサービスの高い施設を提					
(1)事業目的が上位の施策に結びついているか?	」に結びついている。 ているが、今後も市民にサービスの高い施設を提					
①事業目的が上位の施策に結びついているか?」結びつきが弱い・ない」評価対象外事項分賦金の負担により斎場の管理運営が行われ						
□ 結びつきが弱い・ない □ 評価対象外事項 □ 評価対象外事項 □ 対賦金の負担により斎場の管理運営が行われ						
分賦金の負担により斎場の管理運営が行われ						
	分賦金の負担により斎場の管理運営が行われているが、今後も市民にサービスの高い施設を提供していくことが求められる。また、第2斎場の計画も推進中である。					
②すでに所期目的を達成している か?						
11 次 達成している」を選んに場合、6						
性 ③民営化で目的を達成できるか? □ 可能性はある	環境衛生的に火葬場の提供ができる地方公共団体					
※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。						
(民間委託は、権限に属する事務事業 等を委託することで、民営化とは異な る。)						
☑ 現状のままでよい 所期目的に変更はなく,現状の対象と意図で	結果に結びつく。					
④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?						
□評価対象外事項						
有効性向上の可能性がある						
⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? □ 効率性向上の可能性がある □ 可能性がある場合は、⑤-2,						
3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記						
入する。 可能性がない						
有	ことから,火葬場の分散化の具体策として四市複でいる。					
世 せる手段は何か?						
対						
性 事業との統合・役割見直し」 である場合は、該当する類						
□ 類似事業との統合・役割見直し 類似 事務 1	実施主体(所管部署)					
→ 上記以外の方法 事業 名称 2	実施主体(所管部署)					
⑤-3 推進にあたっての課題はあ るか?(一時的な経費増・市	地権者への対応が必要と見込まれる。					
民の理解等)						

٦-	- ド 3207 事務事業名称	環境衛生事務事業				所属名	健康福祉課		
今後の方向	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	② 改革・改善して系)改革・改善 で・縮小 正し	火葬件数が増加 協力する。	事務組合の事業である第2斎場の整備に対し				
性			経	費	第2斎場整備等により費用	費用は増加するが,火葬炉需要への対応が図られる。			
	⑦この事務事業の今後の経費・成果	削	減 不	変 増 加					
	の方向性について選択し、右欄に理 由を記載する。	成							
		果							
		低下							
※内	この事務事業に対する市民や議会の意見(担当者が把握している意見) ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など 市民からは、近距離に立地する火葬場設置要望がある。								
	な0女担の畝供に 0) マル・末米之	ᄼ ᄼ ᄼ ᄼ	^~+7± h	구·윤·마·᠈ 미 ㅜ /▷-	セラッカ ウェー・ファートストラ	4 Π Λ Π 7 ν	間にナルンマねよと 古楽と口湿になる		
所属長コメント	第2扇場の整備については、事業主まいりたい。	14が四円復合事務組合	合 でめるか,1	天棚地か八十代	Πに伏圧 しくいることから)組合及び	関係市として協力し、事業を円滑に進めて		
評価調整委員会評価	② 改革改善して継続 事業プロセスの改革・改善 ③ 事業規模の拡大・縮小 統合・役割見直し 一 その他 廃止・休止 □ 事業完了 現状のまま継続	2 斎場の建設に向け四	四市複合事務組	合に協力し,認	展題解決に努め順次推進す	ること。			